

樹 姉 ば よ う

No.124
2015.02



慈悲喜捨

春のはじめによめる
春やとき 花やおそきと
聞きわかも
うぐいすだにも

鳴かずもあるかな

『古今和歌集』藤原言直

とき……早い
暦の春が早すぎるのか、
花が遅れているのか、それ
を判断しようにも、目安と
したいウグイスの声さえ聞
こえない、という意である。

この歌の「春」は暦の上
の春であり、「花」は実際
に春に咲く花を歌っている。
今年はこの歌のよう
に暦の上では立春（二月四
日）で春になつてはいるが、
実感としての春はまだ浅
い、というより来ていない。
去る一月六日が小寒、二十
日が大寒で、ここ一ヶ月が
最も肌に寒く感じるときで
ある。それでも、暦の上で
春が訪れると気持ちの上で
は心温かくなる。

歌では、春の目安として
「春告鳥」と言われるウグ
イスの声を一番に挙げてい
る。そのウグイスが「鳴か
ずもあるかな」とあるのだ
から、「春やとき」、まだま
だ春とはいえない季節であ
る。「春・花・鶯」という
春のセットを持ちながら、
「暦の春が来ているだけで、
実感できることは何もな

い」ということを歌ったも
のとなつてゐる。

ところで、立春の前日の
二月三日は「節分（鬼遣い・
追儺）」である。

豆をうつ

声のうちに笑ひかな

宝井其角

豆撒きは、奈良時代から
行われていた厄払いの行事
で、もとは中国宮廷の風習
であった。まあ、「鬼は外、
福は内」などムシのよい話
で、宮中などではともかく、
庶民には「笑ひ」を含む一
種の娯楽性の強い行事とし
て行われてきたようだ。

さて、新体育館（明照体
育館）の建設工事が急ピツ
チで進められている。旧年
内に鉄骨の柱が組み上がっ
て床のコンクリート打設や
屋根葺きも済み、現在は外
壁や内部の工事が進められ
ている。また、記念館・立
志館・明照体育館を結ぶ連
絡路の工事も始まった。

八月から再開されていた
正道館六・七・八階のトイ
レ改修工事も先月下旬に完
了し、他館同様、洋式便器
とウォシュレットを備え、
これで生徒用のトイレがす
べて新装となつた。今後は、
五月完成を目指して、明照
体育館及び各館を結ぶ連絡
路の工事、外構、庭や屋上
庭園の整備が進められる。

教頭 尾内 正彰

「いのちを考える」 (その三)

樹徳中学校・高等学校校長
野口 秀樹



一年で一番寒い季節と思われる二月、この寒さを压倒する気力を持って、皆さん一緒に頑張りましょう！

先日、本を読んでいて面白い文章を見つけました。

「親がゴキブリでなかっただけでありがたい。もし親がゴキブリだったら、俺もゴキブリだ。今ごろスリッパでたたかれているところだった。」

この著者は人間に生まれたことを感謝している。素直に親に感謝している。私は今までこんな捉え方をしたことがなく、この考え方をとても新鮮に受け止めましたし、理解もできました。ですから、少し乱暴な表現ではありますが、生徒たちに伝えたいと思ったのです。皆様、親がゴキブリ

でなくて良かったなどと、考えたことはありませんか。

さて、二回連続でお話してまりました「いのちを考える」の三回目、今回は最終回になります。

私の「いのち」はどこから来たのか、「いのち」の不思議を考えました。この「いのち」がどのように生きているのか、生かされているのかを考えました。そしてそのありがたさに感謝したのです。

今回は、「私はどんな目的を持って生まれてきたのか。生を受けたのか」。すなわち、私の使命について考えてみます。

もう二十年以上前のことになりましたが、東京で世界の教育者が集まる会合がありました。そこで私はインドの方と話をする機会を得ました。その方と家庭教育について話している時に、「日本の親は子供を育てるときに何を大切にしていますか」と質問されました。ところが、恥ずかしながらも私は即答できなかったのです。なぜなら、それまでそのようなことを考えたことがなかったからです。

一方、私は当時から学園の理事長という立場でした

ので、毎年新卒者の教員採用面接を何人も行っておりまして、そこで必ず質問していたことがあります。「あなたはご両親に言われて育ってきた言葉はありますか。家訓みたいなものはありませんか」。突然そのことを思い出したのです。この質問に対して、半数以上が「人様に迷惑をかけてはいけない」と言われて育ったという答えでした。

そこで、「日本の家庭では、人様に迷惑をかけないようにと行って子どもを育てます」と答えました。私は、日本人の倫理観は高尚なのだと言えらるるに答えたのです。

すると彼は語気を強めて私に言ったのです。「私の国とは全く逆です」。意外な答えに少し驚いた私に、彼は説明を始めました。

「人間は人に迷惑をかけないで生きていけない。私の国では、このことをしっかりと教えるのです。」

これは、前回の話で触れた「他のいのちを頂かなければ私たちは生きていけない」に通じています。動物、魚、そして植物のいのちを、本人たちの意思に関わらず、(表現は適当ではないのですが)奪ってしまう行

為などを指していました。

「迷惑をかけなければ生きていけない現実を踏まえ、だからこそ私たちは、誰かの何かのお役に立つような生き方をしなければならぬ。誰かのために、何かのために、この身体を、この心を、この知恵を使っていかなければならぬ。」——とてもシンプルですが、これは宇宙の真理のように思われました。この考え方は、確かに、互いに生かし合う社会へとつながっていく。当時の私にとって、目から鱗でありました。

私たちが生きていく目的の一つには、誰かのためにという大前提があるのではないのでしょうか。

前回は、他者からのちを頂くということを中心に、生きることを見つめてみました。別の角度からも生きるということを考えてみると、他者のお役に立つことが、生きることになるのではないか。

私の身につけているものは、何から何まで人様にお世話になったものばかりです。ウールのスーツは、誰かが羊を飼って羊毛を刈り、そして誰かが糸にし、布地を作り、そしてそれを縫製し、業者がこれを販売

し、私の手元に届きます。私はそのプロセスにこれと言った関わりあいを持ちませんが、似合うと言って快適に身につけています。

私はお米を一粒も作ったことがありませんが、それでも毎日ご飯を食べられます。それは誰かが私の代わりにお米を作ってくれたおかげなのです。私は漁師ではないから魚を獲ることができませんが、それでも魚を食べられます。あらゆることが同様になされて私が生かされている。ありがたいことです。

何かのお役に立つことが、私たちがこの世に生を受けた使命である。生かされている私は、皆様を生かす一人になる。今まで気がつきませんでした。私の生きている価値が更に大きくなったような気がして嬉しくなります。

そうなのです。あなたがこの世にいてくれるだけで幸せになる人が沢山いるのです。喜んでくれる人が沢山いるのです。

私たちはもっと嬉しそうに喜んで、胸を張って自分を生きましよう。そうみなさんに呼びかけたいのです。

合 掌

今月の法語

「あたりまえ」を「ありがとう」に

ミャンマー 学校建設プロジェクト

◆全ての皆様に感謝

「ミンガラバー」（ミャンマー語で「こんにちは」）。ミャンマーに学校を建設することができたことに、卒業生・在校生・現地の方、実現に向けご尽力を頂いた全ての方々に、マイトリー基金運営委員として感謝致します。

この基金は、平成十三年高校三年生の私達がまだ五歳の頃から始めました。「将来、発展途上国に学校を建設する」という目的で設立され、以来十四年間で約八千人の先輩達が毎月お小遣いの中から少しずつ拠金してきたのです。

実際のところ、私達は、入学当初は漠然とした気持ちで拠金していました。しかし昨年、学校建設地が

ミャンマーに決定し、私達も委員として関わっていくにつれ、拠金に対する思いが変わってきました。

私達が学校（寺子屋）を建てた場所は、まだ電気も水道もない不便な所であり、教科書も使い回しというような、劣悪な、私達とは全くかけ離れた生活・学習環境です。しかし、子供たちは熱心に勉学に励み、教育水準は高いそうなのです。ミャンマーのことを知るにつれて、この子供たちのために少しでも役に立ちたいと、今では強く思っています。

マイトリー基金運営委員会の活動を通し、私達は多くの感動を味わいました。特に、樹徳高等学校創立百周年というこの歴史的な年にミャンマーに学校を建てられた喜び、そして、その場に立ち会えた幸せを、本当に有り難いことだと思

ます。多くの先輩方が、たとえ形は見えなくても、拠金活動を絶やさずに続けてきて下さったお陰だと、本当に感謝の気持ちで一杯です。また、開校式の準備では、学年に関係なく、学校全体が協力できたことも嬉しいことです。全校生の気持ちが一つになった気がしました。ミャンマー語に興味を持ったことも自分自身の新しい発見でした。

一月二十七日、待ちに待ったイエイエエッター寺子屋小学校の開校式が行われました。開校式については、次号でご報告致します。

マイトリー基金運営委員
三年j組 星野 里紗
持田 寧々

明照体育館 上棟式

一月九日の午前、明照体育館の上棟式が挙行されました。導師には本学園理事長・大善寺住職野口秀樹上人、式衆に善字寺秀光上人、大吉寺秀明上人をお迎えし、法人役員、後援会役員、施工業者、本校職員、生徒代表が列席して、滞りなく

行われました。アリーナからの眺めは、すばらしい体育館の完成を予想するには十分で、皆それぞれ、大きな期待を膨らませている様子でした。



上棟式の様子



1月の建築の様子
—覆いがあってまだ姿が見えせん—



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」2月予定

(1) 販売実習

7日(土)、14日(土)、21日(土)

各日ともに10時～16時

・相田みつをグッズ

・東北復興支援物産品

(とろろ昆布、ひじき、わかめ、鯨・鯖の缶詰、鯉節、大黒パン、みそパン)

(2) アートスクール「編み組み教室」

主催 野村ナナ子さん

4日(水)、18日(水)

(3) 七草ゼミナール塾 主催 上野丈雄さん

25日(水)

インターアクトクラブ「歳末助け合い募金」 百十六万円余を納金しました

『歳末助け合い募金活動を終えて』



IAC会長 三年J3組
木村 陸人

樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動が、昨年の十二月四日から二十五日までの活動期間を、無事に満了することができました。

募金活動は、学内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店さん・境野店さん前で行いました。約一ヶ月にわたる活動で、お預かり致しました浄財の総額は百十六万三千百五十五円となりました。皆様のお陰さまをもちまして、目標額としていた百万円を大きく上回ることができました。

ご支援下さいました方の中には、毎年私たちが

活動している事を覚えていて下さり、この日のために一年間蓄えた多額の浄財を募金してくださった方が複数名いらっしゃいました。

私たちは今年の歳末助け合い募金活動を担当しますが、これは過去の先輩方の活動が街の方々の記憶に残り、ご支援いただいたものと感じ、改めて多くの方々に支えられている活動であるとの認識を持つことが出来ました。

なお、お預かりいたしました浄財は昨年の十二月二十六日に、全額、桐生市社



桐生南 RCの皆様との募金活動

会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からお寄せいただきましたご支援が、それが必要とする方々に届けられることで、地域の福祉の一層の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただきました、皆様のご支援に改めて感謝申し上げますと共に、今後とも活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



中央共同募金会へ納金しました

新年の行事、今年も盛大に！

□校内書き初め大会
一月十四日、今年も校内書き初め大会が盛大に開催されました。書き初めを通じて健全な心身と豊かな心情を養い、あわせて伝統文化への理解を深める新年恒例の行事です。



一月八日の始業式終了後、いよいよ迫る今年のセンター試験を前に、学校長からの激励の言葉をいただいた後、三年SS組の飯塚大規君が決意表明を行いました。それぞれが三年間培ってきた学びの全てを、存分に発揮できますように。



●センター試験
出陣式



樋口姉妹の演武に圧倒

おいしいお汁粉でした

◆鏡開き
鏡開きとは、神仏に感謝し、またその供えられたものを頂くことで無病息災などを祈るものです。一月十五日、今年も家庭科コースの生徒が運動部の生徒の活躍を願い、おいしいお汁粉を振る舞いました。

春が近づいている。大

学入試の本格化はこれからだが、四月からは一人暮らしを始める人も多い。新生活への期待はさぞ大きいことであろう。しかし、注意してほしいことがある。それは、あなたを待ち受けているさまざまな落とし穴だ。

近年は、「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」の利用者が増えている。使い方によっては有用度の高いものだが、これが多くの人々を陥れる事件の温床になっていることも忘れてはならない。悪徳業者が、SNSを利用して、商品の広告やマルチ商法の勧誘をするだけでなく、SNS内部のコミュニティを利用した取引で、詐欺被害を受けるケースが多くなっている。

が増え、勧誘メッセージの送付や自分の広告サイトに誘導する行為が頻繁に見られるようになってきた。

今、SNSで問題になっている事例を挙げてみよう。主なものは、「出会い系詐欺」「スカウト詐欺」「Facebook詐欺」「ペット詐欺」「ギャンブル情報詐欺」「資格取得詐欺」「チケット販売詐欺」「オークション詐欺」「学生ローン詐欺」「ワンクリック詐欺」「先物取引詐欺」「海外宝くじ詐欺」「株式投資詐欺」「通販詐欺」「フィッシング詐欺」「アカウント乗っ取り詐欺」「オンラインゲームアイテム詐欺」「当選詐欺」「開運・靈感商法」「点検商法」「催眠商法」などである。

紙面の都合上、個々の事例についての説明は割愛せざるを得ないので、折を見て、ぜひ調べていただきたい。

最近SNSによって、コミュニティの女性会員がストーカー被害を受けるといふ事件がしばしば起こるが、ネット上に顔写真などを登録してしまうと、男が女に「なりすまし」て接近

し、同じコミュニティに登録しているその女性の友人から個人情報聞き出すことで、ストーカー事件へと発展するようである。インターネットを介して起こるさまざまな事件の被害者にならないためには、「個人情報を出さない」「知らない相手との情報交換や取引に応じない」という二点を絶対に守る必要がある。



ところで、このような事

件は見知らぬ人との間で起こるとは限らない。夏目漱石の小説『こころ』の中には、甥が継ぐべき資産を叔父が無断流用し、叔父が、自分の娘と甥を結婚させることで、その事実を糊塗しようとするという話がある。また、私の知人にも、

身近な人物による詐欺まがいの事件に遭遇し、家族が運営している事業に多大な金銭的負荷を与えてしまったという人がいる。知人は、自分の不注意が原因だったと深く悔いているが、このようなケースは、予め得られている信用を利用することになるので、加害者が事運ぶのは容易であろう。

そして、忘れてはならないことがもう一つある。そ

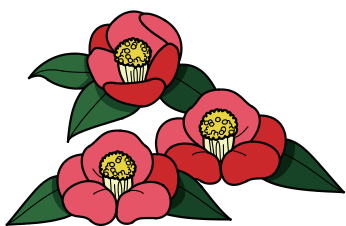
れは、被害を受けた者が、良識、モラル、善意などの道義的な責任を問う言葉を持ち出しても、どうにもならないということだ。彼らのほとんどは、良識やモラルを持っていないか、本人の常識が逸脱している、あるいは、自分の行為に問題があるとは分かっていても、何食わぬ顔をし続けられる精神構造を持っている、のいずれかだからである。そうでなければ、詐欺行為など、そもそも実行できない。

ほとんどの場合、加害者の態度は、被害者の困惑、憤り、落胆などは、どこ吹く風の平然としたもので、もしかしたら、被害者の方が、自分が何か勘違いをし

ていたのではないかと思わされてしまうほどだとい

インターネットという新しいインフラの登場によって、事件の形態も様変わりした。繰り返しになるが、問題に巻き込まれないためには、ネット上に「個人情報を出さない」「知らない相手との情報交換や取引に応じない」という二点が何よりも重要である。そして、もし日々の暮らしの中で、疑問や不安を感じる場面に遭遇したら、その時点で、「信頼できる人や団体に相談する」ということを、常に念頭に置いて生活してほしい。

(国語科 鈴木孝)



一貫校

中学校

だより

音楽部 定期演奏会



「上手だったよ」「感動した」という言葉を頂き、とても温かく嬉しい気持ちになりました。

このように演奏会を成功できたのは、もちろん私たちだけの努力によるものではありません。校長先生、ご指導して下さいました石内先生、諸先生方、まるで自分たちの演奏会のように熱心に協力して下さいました先輩方、温かく見守ってくださった保護者の方々、観に来てくれた仲間など、たくさんの方々の支えがあったからです。本当に感謝の気

持ちでいっぱいです。

三年生の先輩方も一月で引退しました。頼れる先輩がいなくなってしまうと思うと、正直不安で不安で仕方ないですが、ひとつ学年が上がり新入生が入ってくるといふ自覚を持ち、部員一丸となって頑張ります。また、部長としての責任を果たせるように日々努力していきたいです。そして、歴代の先輩方が築き上げてくださった音楽部の伝統を立派に受け継いでいきたいです。

最後に、定期演奏会に力を添えてくださった方々、本当にありがとうございました。これからも一所懸命頑張りますので、応援よろしくお願いします。

音楽部部長 関口未羽

ダンス部 校内発表会

三年生の先輩方からこの「ダンス部」を引き継いで、早五ヶ月。昨年の十二月二十七日、二年生六名と一年生一名の計七名は発表会という大舞台に挑みました。多くの方にご覧頂き、大



な失敗もなく、成功につなげることができました。

しかし、ここまで辿り着くには、急な振付変更や位置変更、突然の人数変更や衣装デザインの變更など、様々な出来事がありました。特に苦労したのは約二ヶ月という短い期間での振り入れやタイミングを合わせる作業です。難しい振付にはなかなか悩まされましたが、このような出来事を乗り越えられたからこそ、今回の発表会の成功に繋がったと思っています。

発表会までの出来事を通していくつかの目標ができました。まず一つ目は、夏の大会に向けてたくさん練

習することです。創作に対する不安はありますが、部員全員で頑張っていきたいと思っています。そして二つ目は、私たちの経験を後輩に引き継ぐことです。三つ目は今回の発表会以上の実力を身につけることです。発表会が成功した喜びは感じましたが、限界を決めず挑戦する心を忘れずに活動していきたいです。

これらの抱負を踏まえ、これからも向上心ある「ダンス部」を築いていきたいです。

ダンス部部長 町田夢乃

平成 27 年度 樹徳中学校 第 3 期入学試験

試験日 2月7日(土)
出願期間 2月3日～5日

いよいよ最終の入試となります
出願はまだ間に合います！
お問い合わせは 0277-45-2257 まで

幼稚園だより

たのしくがんばりました！

なかよし発表会

一月二十四日（土）、幼稚園の中心行事である「なかよし発表会」が、中央公民館ホールにおいて開催されました。子ども・教職員・保護者が一体となつて行う

園の最大行事です。園児が力を発揮できるように、準備の段階から協力し合い、当日も役員の皆様には陰で大活躍をしていただきました。心より感謝とお礼を申し上げます。

子どもたちは、昨年



みんなでがんばったよ！（年長）

二月中旬より練習に取りかかりましたが、予定通りには進まず、冬休みがなければいいのに、と思う時期もありました。しかし、新年を迎え、三学期が始まると、ピアノカでは音階を覚えて吹くことの楽しさを感じたり、劇遊びではセリフを覚え、体で表現する楽しさから、意欲的に集中して練習に取り組みむようになりました。また、自分の役割や、友だちへの思いやりなど、大きく変わりました。その意欲や頑張りがあつて、不安や心配を吹き飛ばしてくれました。子どもた

ちの成長する姿に、発表会に取り組むことの意義・大切さを改めて実感しています。

最後の週は、

自信もついて、楽しそうに、そして堂々とした練習ぶりは、頼もしく感じられました。

その練習の成果を大きなホールで、大勢のお客さんを前に発表したことは、一人ひとりの大きな自信になったことと思います。

年少さんはお遊戯や歌・

合奏を楽しみながら可愛く発表し、年中さんは初めてのピアノカ演奏やお遊戯・劇遊びに、一年前（年少時）と比べ、大きく成長した姿を見せてくれました。年長さんはオペレッタを中心に、ピアノカ演奏や合奏・歌の発表等、堂々としつかりした姿勢から、大きな感動をいただきました。一つの演技が終わる毎に、会場から大きな拍手をいただき、一人ひとりの園児が自分らしさを百分、それ以上に発揮することができたと思います。心より感謝する



だいせいこう！（年少）

とともに、大いに褒めてやりたいと思います。

大変だった練習

の過程において、みんなの前で堂々と話せるようになったり、幼児語が直ったり、自分の意見がはっきりと言えるようになったりと、細かい変化等、確実に成長している姿から、子ども一人ひとりを大切に行っている指導者にとつては、うれしい限りですが、お家でもそんな成長を大いに褒めてあげてください。

この発表会は、毎日の保育の延長であり、まとめであり、次の成長への足がかりでもあることを再確認し、学びの自立・生活の自立・精神的な自立の向上へと、残り二ヶ月の指導（支援）に努めていきたいと思っています。

ご来場いただきました皆様の、大きなご声援に感謝するとともに、今後もご支援ご協力よろしくお願いいたします。

幼稚園長 瀬谷 茂

入園願書受付中

四月入園児、満三歳入園児とともに、随時受け付けております。（二歳児・転入園は相談に応じます）ぜひお気軽にお問い合わせください。

◎受付時間

平日 八時三十分～十八時

●預かり保育は十八時三十分まで。働いている方も安心です。

●送迎は園バスで安心・安全です。

●平日はいつでも見学できます。また、水曜日は遊び教室を開放しています。まずは左記にお電話くださるか、直接ご来園ください。職員一同、お待ちしております。

住所 桐生市広沢町3-4475
電話 0277 (53) 5571

○詳細はホームページでも！

<http://www.jitoku.ed.jp/kinder>

お知り合いの方などへのお声かけも、よろしくお願いいたします。



2 月（忍辱）の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	日	一般入学試験採点		
2	月	代休 (2/1)	校内安全清掃点検 挨拶運動	リズム (全) 線 (年少)
3	火	一般入試審査会 珠算練習開始	願書受付(～5日) 中1節分会 計算オリンピック⑮	大善寺節分会 桜木地区環境よくする会
4	水	校内基礎学力テスト③ 1年生スキー教室一斉指導 マイトリー基金記念日	漢字王決定戦⑬	英語 (全) 文字と数 (年長) 南ロータリークラブ感謝の演奏会
5	木	授業料納入日(3年2・3月分) 第3回諸費納入日	立志式	保育料納入日 体育 (全) 文字と数 (年中)
6	金	担任宛成績提出 (3年)	漢字検定	入園生活説明会
7	土	ビジネス文書実務検定③ 2年生進研マーク模試(～8日)	中学第三期入学試験	
8	日	堀マラソン 1年生代ゼミセンター模試	堀マラソン	
9	月	LHR 3年生登校日 教務宛成績提出	挨拶運動	教育実習最終日 リズム (全) 線 (年少)
10	火	一般入試合格発表 卒業褒賞関係候補者成績会議	計算オリンピック⑯	10年目研修⑦
11	水	建国記念の日		
12	木	後援会役員会④	漢字王決定戦⑭ 中3語学研修会	体育 (全) 文字と数 (年中)
13	金	卒業成績会議(15:00～)		2・3月生まれ誕生会
14	土	数学検定②	入学説明会② 数学検定	
15	日	全経簿記検定		
16	月	1年生男子スキー教室(～17日)	挨拶運動	リズム (全) 線 (年少)
17	火		計算オリンピック⑰	涅槃会 (大善寺)
18	水	1年生女子スキー教室(～19日)	中1・2合同スキー教室(～20日)	英語 (全) 文字と数 (年長)
19	木			体育 (全) 文字と数 (年中)
20	金	写真撮影 (1・2年生)		
21	土	第2回入学手続き 職員出勤日		
22	日	英語検定③二次 日商簿記検定③		
23	月	朝礼 珠算競技(～25日)	挨拶運動	新入園児入園体験日 リズム (全) 線 (年少)
24	火		計算オリンピック⑱	
25	水	ITS研修⑥	早朝自主学习 (～3月6日)	お茶のお稽古 (年長) ⑦ 英語 (全) 文字と数 (年長)
26	木	漢字練習開始 女子制服アフターサービス		園長研修会 群私幼総会 体育 (全) 文字と数 (年中)
27	金	大掃除 卒業式会場作成		
28	土			

※ 2日は高等学校・一貴校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671
〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262
〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口 秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく